

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 1 月 6 日 (2011.1.6)

【公開番号】特開 2009-79228 (P2009-79228A)
 【公開日】平成 21 年 4 月 16 日 (2009.4.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-015
 【出願番号】特願 2008-281509 (P2008-281509)
 【国際特許分類】

C 0 9 K 3/14 (2006.01)

B 2 4 B 37/00 (2006.01)

G 1 1 B 5/84 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 3/14 5 5 0 D

C 0 9 K 3/14 5 5 0 Z

B 2 4 B 37/00 H

G 1 1 B 5/84 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 11 月 15 日 (2010.11.15)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

二次粒子の平均粒径が $0.05 \sim 1.0 \mu\text{m}$ の - アルミナ、中間アルミナ、過酸化水素、酸 $0.01 \sim 5$ 重量%、及び水を含有する pH が $1 \sim 4$ の研磨液組成物であって、酸が鉱酸、カルボン酸、メタンスルホン酸、及びヒドロキシエチリデンジホスホン酸からなる群より選ばれる一種である、磁気ディスク基板用研磨液組成物。

【請求項 2】

- アルミナの二次粒子の平均粒径が $0.1 \sim 0.5 \mu\text{m}$ である、請求項 1 記載の研磨液組成物。

【請求項 3】

- アルミナと中間アルミナの重量比率 (- アルミナ / 中間アルミナ) が $99 / 1 \sim 30 / 70$ である請求項 1 又は 2 記載の研磨液組成物。

【請求項 4】

- アルミナの含有量が、 $0.05 \sim 40$ 重量%である、請求項 1 ～ 3 いずれか 記載の研磨液組成物。

【請求項 5】

中間アルミナの二次粒子の平均粒径が、 $0.1 \sim 0.5 \mu\text{m}$ である、請求項 1 ～ 4 いずれか 記載の研磨液組成物。

【請求項 6】

中間アルミナの含有量が、 $0.05 \sim 40$ 重量%である、請求項 1 ～ 5 いずれか 記載の研磨液組成物。

【請求項 7】

過酸化水素の含有量が、 $0.002 \sim 20$ 重量%である、請求項 1 ～ 6 いずれか 記載の研磨液組成物。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 7 いずれか記載の研磨液組成物を用いて、磁気ディスク基板のうねりを低減する方法。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 7 いずれか記載の研磨液組成物を用いて、被研磨基板を研磨する工程を有する、磁気ディスク基板の製造方法。